

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当の基準日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告して設定します。
公告方法	電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。 なお、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。 ホームページ http://www.vinx.co.jp ※貸借対照表、損益計算書はEDINET（金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム）にて開示しております。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
同郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル) (各種お手続き) ・住所変更のお申し出先について 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。 ・未払配当金の支払いについて 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部

Make IT better with

VINX

第29期 中間報告書

2017.4.1 ▶ 2017.9.30

VINX

株式会社ヴィンクス
本社/〒530-0004
大阪市北区堂島浜2-2-8
TEL.06-6348-8951 (代)
<http://www.vinx.co.jp>

UD FONT

ユニバーサルデザイン(UD)の
考えに基づいた見やすいデザインの
文字を採用しています。

ホームページのご案内

当社に関する情報は
ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.vinx.co.jp>



人々の暮らしと流通企業のビジネス活動を
情報システム技術で融合し、
豊かな社会の実現に貢献します。



代表取締役 社長執行役員 藤田 俊哉

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、
厚く御礼申し上げます。

ここに第29期中間期(2017年4月1日から2017年9月30日まで)における
当社グループの事業概況等を謹んでご報告申し上げます。

当中間期の連結経営成績

	前中間期	当中間期	前年同期比
売上高	128億52百万円	127億88百万円	99.5%
営業利益	6億97百万円	7億22百万円	103.7%
経常利益	6億61百万円	7億19百万円	108.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4億26百万円	4億17百万円	97.8%

売上高

既存顧客への更なる深耕は進めているものの、ストック型ビジネス(サービス事業)への移行に伴い受注から売上計上までの期間が長期化した影響などにより、前年同期を下回る結果となりました。

利益面

業務効率および生産性の向上やコスト削減を図り原価低減に努めた結果、営業利益、経常利益とも前年同期を上回りましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、減損損失を計上した影響などにより、前年同期を下回る結果となりました。

アウトソーシング分野

システム運用・管理サービス、ソフトウェア保守サービス、ヘルプデスクサービス等

※1 売上高

53億 2百万円
前年同期差 11億61百万円減 前年同期比 82.0%
計画差 2億35百万円減 計画比 95.7%

営業利益

2億 65百万円
前年同期差 1億30百万円減 前年同期比 67.1%
計画差 40百万円減 計画比 86.8%

※1 売上計上における事業区分の変更を一部実施しております。

ソリューション分野

流通・サービス業向け基幹システム、クレジットカードシステム、ネットビジネス等

売上高

42億 32百万円
前年同期差 8億14百万円増 前年同期比 123.8%
計画差 4億17百万円減 計画比 91.0%

営業利益

3億 44百万円
前年同期差 94百万円増 前年同期比 137.9%
計画差 41百万円増 計画比 113.5%

プロダクト分野

オープンPOSパッケージ、クラウド型タブレットPOSパッケージ、CRMパッケージ、MD基幹システム、次世代統合運用等

売上高

12億 14百万円
前年同期差 6億58百万円増 前年同期比 218.3%
計画差 1億85百万円増 計画比 118.0%

営業利益

70百万円
前年同期差 56百万円増 前年同期比 506.7%
計画差 5百万円増 計画比 108.0%

中間配当につきまして

2018年3月期の中間配当金につきましては、当初の予想どおり1株当たり10円とすることといたしました。なお、期末配当金につきましては、1株当たり10円を予定しております。

その他IT関連分野

ハードウェア販売、店舗システム導入展開サービス等

※2 売上高

20億 38百万円
前年同期差 3億75百万円減 前年同期比 84.4%
計画差 3億96百万円増 計画比 124.1%

営業利益

42百万円
前年同期差 4百万円増 前年同期比 111.5%
計画差 7百万円増 計画比 120.1%

※2 前年度はPOS機器の大型リプレイス案件(特需)を計上しております。

— 2017年度上期において実施した主な施策 —

主な営業トピックス

リテール事業の拡大	スーパー	<p>● MD基幹システム 関西地方を中心として展開する中堅スーパー様よりMD基幹システム「MDware」の導入展開案件を受注いたしました。</p>
	専門店	<p>● 次期POSシステム 100円ショップを展開する大手企業様より次期POSシステムの要件定義を受注いたしました。</p>
	専門店	<p>● 受発注システム 大手化粧品メーカー様ブランド商品の受発注システム案件を受注いたしました。</p>
	ドラッグストア	<p>● 決済サービス 関西地方を中心として展開する大手ドラッグストア様にてPOSシステムと各種決済サービスを連動させた「SoftWareCAT」が本番稼動いたしました。</p>
グローバル事業の拡大	流通・サービス	<p>● テナント管理システム 大手総合小売業グループの中国法人様よりショッピングセンター向けテナント管理システムのリプレイス案件を受注し、サービス提供を開始いたしました。</p>
	スーパー(海外)	<p>● POS定額利用料サービス 大手総合小売業グループのマレーシア法人様のPOS定額利用料サービスを開始いたしました。</p>
特定顧客事業の拡大	スーパー	<p>● 電子棚札システム 関東地方を中心として展開する大手スーパー様より電子棚札システム開発案件を受注いたしました。</p>

東京証券取引所市場第一部指定について

2017年10月17日
 当社株式は東京証券取引所
 第一部銘柄に指定されました。



これもひとえに、株主の皆様をはじめ、お客様、お取引先様など、多くの関係者の皆様の温かいご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

当社グループは、「人々のくらしと流通企業のビジネス活動を情報システム技術で融合し、豊かな社会の実現に貢献します。」という経営理念のもと、今後も皆様のご期待にお応えできますよう、更なる業容の拡大と企業価値の向上に努めてまいりますので、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

「第1回AI・人工知能EXPO」への出展

2017年6月28日～6月30日
 東京ビッグサイトで開催されました
 「第1回AI・人工知能EXPO」に出展いたしました。



会場では、流通・サービス業のお客様向けに、弊社のPOSシステムや顧客・ポイントシステム、MD基幹システムが持つデータと、SENSY株式会社(旧カラフル・ボード株式会社)のパーソナルAI「SENSY」が持つ嗜好データを組み合わせることで、課題の解決を図るソリューションをデモを交えてご紹介しました。

開催期間中は多くのお客様にご来場頂きました。

またテレビ局などの各メディア13社より取材を受け、テレビ朝日・朝日放送「報道ステーション」等5番組で放映されました。

来年度も2018年4月4日～4月6日東京ビッグサイトにて開催の「第2回AI・人工知能EXPO」に出展を予定しています。

四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第2四半期末 2017年9月30日現在	前期末 2017年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	11,044,076	12,433,220
固定資産	4,760,442	3,598,527
有形固定資産	1,285,464	1,244,257
無形固定資産	2,039,044	1,093,496
投資その他の資産	1,435,933	1,260,772
資産合計	15,804,518	16,031,747
(負債の部)		
流動負債	4,783,774	5,677,369
固定負債	2,842,929	2,932,572
負債合計	7,626,703	8,609,941
(純資産の部)		
株主資本	7,581,431	7,252,908
その他の包括利益累計額	91,862	97,890
新株予約権	42,209	22,446
非支配株主持分	462,311	48,560
純資産合計	8,177,815	7,421,805
負債純資産合計	15,804,518	16,031,747

四半期連結損益計算書

(単位:千円)

	当第2四半期累計 2017年4月1日～ 2017年9月30日	前第2四半期累計 2016年4月1日～ 2016年9月30日
売上高	12,788,843	12,852,413
売上原価	10,089,469	10,269,554
売上総利益	2,699,373	2,582,859
販売費及び一般管理費	1,976,447	1,885,399
営業利益	722,926	697,459
経常利益	719,770	661,339
親会社株主に帰属する 四半期純利益	417,173	426,595

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期累計 2017年4月1日～ 2017年9月30日	前第2四半期累計 2016年4月1日～ 2016年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	37,473	1,299,930
投資活動による キャッシュ・フロー	△902,217	1,442,133
財務活動による キャッシュ・フロー	△616,191	△870,374
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△1,424	△195,494
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△1,482,360	1,676,195
現金及び現金同等物の 期首残高	6,037,945	4,850,280
現金及び現金同等物の 四半期末残高	4,555,585	6,526,476

株式の状況 (2017年9月30日現在)

発行可能株式総数 22,400,000株
 発行済株式の総数 8,859,000株
 株主数 2,236名

大株主 (上位10名)

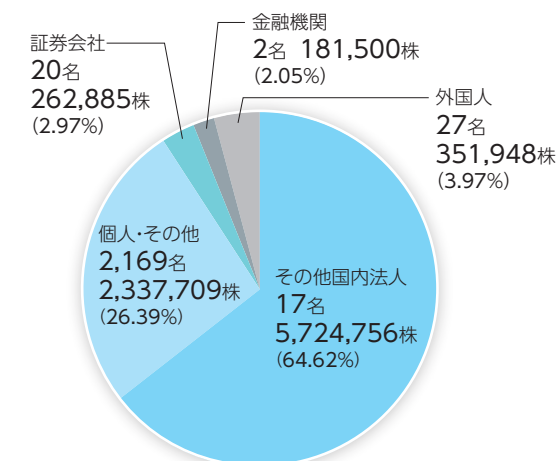
株主名	持株数	持株比率
富士ソフト株式会社	5,615,000株	63.38%
ヴィンクス従業員持株会	330,916	3.73
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	160,000	1.80
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	154,600	1.74
MSIP CLIENT SECURITIES	129,600	1.46
有限会社協和商事	74,700	0.84
石橋拓朗	72,000	0.81
株式会社SBI証券	57,900	0.65
神林忠弘	54,500	0.61
城田正昭	50,000	0.56

(注)持株比率については、小数点第3位を切り捨てております。

会社概要 (2017年9月30日現在)

商号	株式会社ヴィンクス (英文名 VINX CORP.)
本社	大阪市北区堂島浜2-2-8
設立	1991年2月20日
主要な事業内容	流通・サービス業に特化した総合情報サービスの提供
資本金	596,035,384円
従業員数	1,429名(連結)、1,137名(単体)
連結子会社	株式会社 4U Applications 株式会社エリア 維傑思科技(杭州)有限公司 Vinx Malaysia Sdn.Bhd. VINX VIETNAM COMPANY LIMITED

所有者別株式分布状況 (2017年9月30日現在)



(注)上記には、自己株式(202株)は含まれておりません。

役員 (2017年9月30日現在)

代表取締役	社長執行役員	藤田俊哉
取締役	専務執行役員	今城浩一
取締役	専務執行役員	大西誠
取締役	常務執行役員	木元覚
取締役	常務執行役員	服巻俊哉
取締役	常務執行役員	竹内雅則
取締役		豊田浩一
取締役		岡嶋秀実
取締役(社外)		川口勉
取締役(社外)		大石健樹
常勤監査役(社外)		水口賢
監査役(社外)		村田智之
監査役(社外)		佐藤吉浩